

作成日 2025 年 10 月 28 日
(最終更新日 2025 年 10 月 28 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5314

課題名 : 橈骨遠位端骨折のプレート治療における成績評価

1. 研究の対象

2016 年 4 月 1 日～2025 年 10 月 1 日に当院で人工股関節置換術を受けられた方

2. 研究期間

2025 年 11 月 (研究実施許可日) ～2028 年 12 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 11 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

橈骨遠位端骨折は、日常臨床で経験する骨折の中でも非常に一般的な骨折であり、患者数はかなりの数にのぼります。しかし、手関節という解剖学的な特徴から、固定した後に再度ずれる可能性が高く、その場合は手関節の機能が大きく悪化します。現代では橈骨遠位端骨折の治療には『掌側ロッキングプレート』という機材を用いた手術が一般的となっており、そのプレートの種類は多岐にわたります。どのプレートが一番臨床成績が良いかという成績報告は本邦では少なく、現段階では未知となっています。どのような成績であるかを総合的に評価することで、最も良いプレートの選択を提示することが本研究の目的です。

5. 研究方法

橈骨遠位端骨折に対してプレートを用いて治療し、すでに癒合した患者様の、術前・術後・癒合後の橈骨遠位部の角度、痛み、関節の動きなどを用いて評価します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : レントゲン画像、痛み、関節の動き。患者さん個人が特定されるような情報は研究に使用しません。

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究に関する情報公開の方法

研究結果を発表する際には、患者さん個人が特定できないよう個人情報を加工して公表いたします。

10. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

講座研究費を用います

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校 整形外科学講座 講師 小林紘樹
住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2
連絡先：04-2995-1511（内線 5313）電話対応時間 9時から 16時
con461@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校 整形外科学講座 講師 小林紘樹